

【平成30年度矢口小学校授業改善プラン】

理科における平成29年度の授業改善推進プランの検証

<p>＜取り組みにおける成果と課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・矢口自然農園を中心とした自然と触れ合う体験的な活動を取り入れていることで、関心をもち、主体的な取組につなげることができた。 ・知識・理解の定着に向け、視聴覚機器の効果的な活用ができた。 ・知識・理解の定着に向け、グループでの実験方法の検討や考察を取り入れ、学級全体での学び合いを設定したが、十分な知識・理解の定着へは至っていない。

理科における内容別・観点別分析

内容別結果の分析	理科全体の校内平均正答率は、第4学年は目標値を上回っている。第5学年、第6学年共に、目標値を下回っているが、目標値には近い。			
	物質・エネルギーでは、第4学年は目標値を上回っているが、第5学年及び第6学年は目標値をそれぞれ下回っている。			
生命・地球では、第4学年では「こん虫の育ち方」第5学年では「動物のからだのつくりと運動」第6学年では「魚のたんじょう」が目標値と同等または、上回っており、定着が図られている。				
観点別結果の分析	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・判断	観察・技能の技能	自然事象についての知識・理解
	第4学年は目標値を上回っているが、第5、6学年は目標値を下回っている。第5学年は前年度を下回っているが、第6学年は、前年度よりも上回っている。	第4学年は目標値を上回っているが、第5、6学年は目標値を下回っている。第5学年は前年度を下回っているが、第6学年は、前年度よりも上回っている。	第4学年は目標値を上回っているが、第5、6学年は目標値を下回っている。第5学年は前年度を下回っているが、第6学年は、前年度よりも上回っている。	第4、5、6学年共に目標値をそれぞれ下回っている。第5学年は前年度を下回っているが、第6学年は、前年度よりも上回っている。

授業改善のポイント

<p>分析を受けて、取り組む柱</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験を通して様々な自然の事物・現象への関心を高め、実感を伴った指導の充実を図る。 ・学習の流れの定着を図る。 ・見通しをもって観察・実験を行い、問題を解決する力の育成を図る。 ・ICT機器を効果的に活用する。
--

理科の授業改善策

<p>＜中・高学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題→予想→観察・実験→結果→考察→まとめという問題解決を図る手順を習慣づける。 ・デジタル教材を効果的に活用し、具体的なイメージを持つことができるようにすると共に、知識の定着を図る。 ・個→グループ→全体 という学び合いのスタイルの定着を図り、多様な考えを知り、自らの考えに生かし、深められるようにしていく。 ・理科用語の活用を通し、定着を図る。 <p>＜中学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験や観察の仕方の定着を図り、分かりやすく記録をすることができるようにする。 <p>＜高学年＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活経験や、既習事項を生かして推論し、根拠のある予想を立てられるようにする。
--

平成30年度の成果と課題

--